

学園用アンケートの結果について

1、回収率

令和7年度	令和6年度
65% (52/80)	65% (52/80)

2、全体的な傾向

- ・今年度も、回収率上昇に向けて各部署に回収袋の設置をお願いした。
回収率は昨年度とほぼ同じで、6割以上となった。
- ・総計でC+Dが40%以上の否定的評価は3項目あった。1項目においては、昨年度に引き続きの否定的評価となった。昨年度、学校と学園の連絡や情報提供の項目において、リハビリテーション課と福祉課・事務部においては肯定的評価が高いが、医師・看護師・支援課においては否定的評価が高いという結果が出たが、今年度においては全ての部署において、これらの項目の否定的評価が高くなっている。

3、課題のある項目（Zを除き、C+Dが40%以上）

- ・「学校は、子どもの障がいや心身の状態についてよく理解している。」(C+D: 40%→48%)
- ・「学校は、「個別の教育支援計画」の作成と活用に向けて、学園スタッフと連携して取り組んでいる。」(C+D: 25%→41%)
- ・「学校は学園との連絡や情報提供を行っている。」(C+D: 39%→41%)

4 自由記述の特記事項

- ・医療的ケアの対応について
- ・学校と学園の連携について
- ・児童生徒への対応について 等

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・回収率の向上に向けての取り組みを継続していく。
- ・アンケートに返答いただいた方にアンケート結果や分析を伝えていく。

教職員アンケートの結果について

1 回収率

令和7年度	令和6年度
100% (26/26)	100% (26/26)

2 全体的な傾向

- ・昨年度に引き続き、課題のある項目はなかった。2年前に課題のある項目に挙がっていた「この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。」の項目においては、今年度は90%以上の肯定的評価となった。

(A+B : 52%→77%→92%)

- ・学校と学園との連携についての項目において、肯定的評価が8割以上を占めているが、学園アンケートでは課題項目に挙がっている。学校と学園との結果の差について検討する必要がある。

3 課題のある項目 (Zを除き、C+Dが40%以上)

なし

4 自由記述の特記事項

- ・教員配置について
- ・ICT 機器について 等

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・提出については、手渡しでの提出を行うことで、全員提出ができています。今後も手渡しでの提出を行う。

保護者・児童・生徒アンケートの結果について

<保護者アンケート結果>

1 回収率

令和7年度	令和6年度
85% (11 / 13)	85% (11 / 13)

2 全体的な傾向

- ・肯定的評価が大半を占めている。連携に関する項目においても、肯定的評価が100%となっている。
- ・児童生徒の様子について、Zの回答が30%以上になっている項目が見られた。児童生徒と会う機会の少ない保護者に対しても、学校の様子をさらに伝えていく必要がある。

3 課題のある項目（Zを除き、C+Dが20%以上）

- ・なし

4 自由記述の特記事項

- ・宿題について

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・一定の回収率を保つために、アンケート期間に余裕を持つ必要がある。行事前に配布することで、保護者が行事で来校する際に回収することができた。
- ・昨年度に引き続き、領域ごとに自由記述欄を設けたが、記述は少なかった。Zの回答率は近年下がっているので、引き続き意見を言いやすいアンケートの在り方を検討していく。

<児童生徒アンケート結果>

1 回収率

令和7年度	令和6年度
100% (2/2)	100% (4/4)

2 全体的な傾向

- ・児童生徒2名の実施となった。
- ・全て肯定的評価であった。昨年度、Zの回答が50%になっていた、いじめについての項目と、災害時の対応についての項目においても、今年度は肯定的評価となっている。引き続き児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、対応していく。
- ・例年、自由記述があったが、今年度はなかった。特に記載する必要がなかったと考えられるが、些細な事でも気軽に教員に伝えられる環境を、今後も作っていく。

3 課題のある項目（Zを除き、C+Dが20%以上）

- ・なし

4 自由記述の特記事項

- ・なし

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・なし